



## 2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 GMOフィナンシャルゲート株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4051 URL https://gmo-fg.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 憲太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部本部長 (氏名) 玉井 伯樹 (TEL) 03(6416)3881  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	12,003	61.2	976	73.2	973	72.9	613	71.3
2022年9月期第3四半期	7,446	53.9	563	20.8	562	20.3	358	14.9

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 627百万円(74.0%) 2022年9月期第3四半期 360百万円(28.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	74.20	73.74
2022年9月期第3四半期	43.47	42.97

(注) 当社は、2023年1月17日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2022年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	8,617	4,962	55.5
2022年9月期	6,638	4,670	67.8

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 4,780百万円 2022年9月期 4,503百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	58.00	58.00
2023年9月期	—	0.00	—		
2023年9月期(予想)				39.00	39.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2023年1月17日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2023年9月期(予想)における期末配当金については、当該株式分割後の影響を考慮して記載しております。

## 3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	45.7	1,020	37.7	1,018	36.5	631	33.5	76.29

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、2023年1月17日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、「2023年9月期の連結業績予想」における1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の影響を考慮して記載しております。

3. 連結業績予想の修正については、本日(2023年8月9日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年9月期3Q	8,305,340株	2022年9月期	8,260,220株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	19,188株	2022年9月期	252株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年9月期3Q	8,265,280株	2022年9月期3Q	8,238,787株

- (注) 1. 期末自己株式数には、株式給付信託 (BBT及びJ-ESOP) の所有する当社株式が含まれております (2022年9月期該当なし 2023年9月期3Q 18,800株)。
2. 当社は、2023年1月17日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2022年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数 (普通株式) を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結累計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第3四半期連結累計期間（2022年10月1日～2023年6月30日）の業績は以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	増減率(%)
売上高	7,446,363	12,003,785	61.2
営業利益	563,736	976,666	73.2
経常利益	562,966	973,092	72.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	358,129	613,308	71.3

## a. 売上高

売上高は12,003,785千円(前年同期比61.2%増)となりました。

当第3四半期連結会計期間においては、一部で新型コロナウイルス感染症の感染「9波」への懸念が報じられるものの、影響は限定的だったとみられ、経済活動の正常化に向けた動きが継続し、当社が立脚する対面キャッシュレス決済市場は多くの加盟店業種において決済取扱高が拡大いたしました。また、訪日外国人数も回復基調が継続しており、インバウンド需要の寄与も一定程度あったとみられ、当社の主要KPIである決済処理件数・金額が順調に拡大いたしました。

イニシャル売上の大部分を占める決済端末販売においては、引き続き次世代決済端末「stera」の貢献が大きく、売上を牽引いたしました。当第3四半期連結会計期間においては、第2四半期連結会計期間と同様に期首から続く大型案件に関連した決済端末出荷が高水準で継続したほか、中小案件の積み上げも大きく、前四半期比での売上拡大に貢献しました。

また、リカーリング型売上\*（ストック、フィー及びスプレッドの合計）においては、新型コロナウイルス感染症の落ち着きに伴う経済活動正常化の継続、訪日外国人数の増加に伴うインバウンド需要の回復も後押ししたとみられ、順調に拡大いたしました。加えて稼働端末台数の継続的な積み上がりもあり、閑散期にあたる第2四半期連結会計期間（1月～3月）と比べて大きく伸ばすことができました。リカーリング型売上の中では相対的に伸び悩んでいたスプレッドも各種施策の実施により、計画通り推移し復調傾向にあります。

\*当第3四半期連結会計期間より、従来「ストック型」と表現していたストック、フィー及びスプレッドの合計を、「リカーリング型」に名称変更しております。

当第3四半期連結累計期間の品目別売上高は以下のとおりです。リカーリング型はストック、フィー、スプレッドの合計であり、括弧書きの数字はリカーリング型の内訳となります。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	増減率(%)
イニシャル	5,234,799	8,587,433	64.0
リカーリング型	2,211,563	3,416,352	54.5
ストック	(621,446)	(877,758)	(41.2)
フィー	(882,183)	(1,702,705)	(93.0)
スプレッド	(707,934)	(835,888)	(18.1)
合計	7,446,363	12,003,785	61.2

#### b. 営業利益

営業利益は976,666千円(前年同期比73.2%増)となりました。

決済端末販売を中心としたイニシャル売上の収益性は高くないものの、当第3四半期連結会計期間は計画を上回るイニシャル売上を計上することができ、粗利の絶対額の増加が営業利益の成長に貢献しました。また、好調なイニシャル売上に背景とし、稼働端末台数、決済処理件数・金額が拡大したことで利益貢献度の高いリカーリング型売上も着実に伸長させることができ、成長を支えるための人材採用、役職員還元、各種成長投資に対して十分な投資を行いつつも、高い営業利益の成長を実現しております。

#### c. 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は613,308千円(前年同期比71.3%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,925,446千円となり、前連結会計年度末に比べ1,909,388千円増加いたしました。これは主に決済端末を今後の販売見通しに基づいて一定水準まで確保したことにより商品が1,226,647千円、決済端末の販売が順調に推移したことにより売掛金が553,623千円、現金及び預金が260,592千円増加したこと等によるものであります。固定資産は1,692,127千円となり、前連結会計年度末に比べ70,170千円増加いたしました。これは主にのれんが33,328千円減少した一方で、ソフトウェアが91,694千円増加したこと等によるものであります。

この結果、資産合計は8,617,573千円となり、前連結会計年度末に比べ1,979,559千円増加いたしました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,114,779千円となり、前連結会計年度末に比べ185,993千円増加いたしました。これは主に買掛金が215,583千円増加したこと等によるものであります。固定負債は1,540,780千円となり、前連結会計年度末に比べ1,502,209千円増加いたしました。これは主に長期借入金が1,500,000千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,655,560千円となり、前連結会計年度末に比べ1,688,203千円増加いたしました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,962,013千円となり、前連結会計年度末に比べ291,355千円増加いたしました。これは主に剰余金の配当239,539千円により利益剰余金が同額減少したことと、自己株式が120,902千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益613,308千円の計上により利益剰余金が同額増加したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想の修正を行いました。修正前の連結業績予想は、2023年5月11日に公表したものです。

わが国経済は、物価上昇、金融政策の変更観測、景気後退などが懸念されており、先行きが不透明な状況が継続しております。一方、当社グループが立脚する対面キャッシュレス決済市場においては、行政による普及促進や決済手段の多様化、更にはwithコロナにおける安心な決済手段への志向も追い風として、キャッシュレス決済を導入する加盟店は増加傾向にあります。

こうした状況の下、当社グループにおいては対面キャッシュレス決済市場シェアの拡大を目指し、次世代決済端末の提供を通じた決済処理件数・金額の増加に注力しております。市場シェア拡大に向けた戦略を着実に実行することにより、当第3四半期連結会計期間において計画を上回る次世代決済端末の提供を行うことができ、当社グループが重視する稼働端末台数、決済処理件数・金額が順調に拡大したことで売上高が好調に推移しました。その結果を踏まえ、第4四半期連結会計期間におけるイニシャル売上予想（決済端末の販売予想）及びリカーリング型売上予想を精査し、通期連結予想売上高を修正前比1,380百万円の増加となる15,000百万円へ上方修正いたしました。

利益面に関しては、通期連結予想利益の想定超過部分を来期以降への成長投資として充当する方針であり、具体的には売上及び利益向上に資する事業性の先行投資（個別案件における投資、市場調査等）、役職員に対する業績を反映した賞与等による成果還元及び人材への投資（新たな人材採用と役職員研修等による人材開発）、生産性向上に資する投資（各種社内システムの改修・新設等）、サステナビリティに関する取り組みの推進（GHG排出量削減を含む気候変動への対応、ESGに関する取組強化と情報開示の充実等）に追加投資を予定していることから、通期連結予想利益については2023年5月11日に公表した予想値を据え置いています。

詳細は、本日（2023年8月9日）公表しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,519,185	2,779,777
売掛金	630,851	1,184,474
商品	1,506,845	2,733,492
その他	362,240	238,558
貸倒引当金	△3,065	△10,857
流動資産合計	5,016,057	6,925,446
固定資産		
有形固定資産	79,685	89,357
無形固定資産		
ソフトウェア	989,279	1,080,973
ソフトウェア仮勘定	103,872	113,267
顧客関連資産	85,621	53,513
のれん	177,753	144,424
その他	60	60
無形固定資産合計	1,356,587	1,392,239
投資その他の資産		
敷金	47,801	47,225
破産更生債権等	1,021	1,019
繰延税金資産	137,863	130,818
その他	19	32,486
貸倒引当金	△1,021	△1,019
投資その他の資産合計	185,683	210,530
固定資産合計	1,621,956	1,692,127
資産合計	6,638,014	8,617,573

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	814,649	1,030,233
未払法人税等	253,018	95,254
契約負債	34,343	73,958
預り金	173,421	362,194
賞与引当金	241,500	251,120
役員賞与引当金	59,300	61,790
その他	352,552	240,228
流動負債合計	1,928,785	2,114,779
固定負債		
長期借入金	—	1,500,000
株式給付引当金	166	3,434
役員株式給付引当金	11,977	20,960
繰延税金負債	26,217	16,385
その他	210	—
固定負債合計	38,571	1,540,780
負債合計	1,967,356	3,655,560
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,617,987	1,629,932
資本剰余金	1,631,098	1,643,043
利益剰余金	1,257,124	1,630,894
自己株式	△2,627	△123,529
株主資本合計	4,503,581	4,780,339
非支配株主持分	167,075	181,673
純資産合計	4,670,657	4,962,013
負債純資産合計	6,638,014	8,617,573



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)
売上高	7,446,363	12,003,785
売上原価	5,511,729	9,103,131
売上総利益	1,934,633	2,900,654
販売費及び一般管理費	1,370,897	1,923,987
営業利益	563,736	976,666
営業外収益		
受取利息	14	12
その他	103	3
営業外収益合計	117	16
営業外費用		
支払利息	886	3,557
その他	—	32
営業外費用合計	886	3,590
経常利益	562,966	973,092
特別損失		
固定資産除却損	—	11,920
特別損失合計	—	11,920
税金等調整前四半期純利益	562,966	961,172
法人税、住民税及び事業税	215,460	336,052
法人税等調整額	△13,275	△2,786
法人税等合計	202,184	333,265
四半期純利益	360,782	627,906
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,652	14,598
親会社株主に帰属する四半期純利益	358,129	613,308

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	360,782	627,906
四半期包括利益	360,782	627,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	358,129	613,308
非支配株主に係る四半期包括利益	2,652	14,598

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、対面決済サービス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。